

## ■ 大好評のうちに県内上映を終えた「波乗りオフィスへようこそ」

「美波ふるさと創造戦略」や「美波町人口ビジョン」に沿って進められてきたこれまでの動きを、美波町出身の明石知幸監督が描いた「波乗りオフィスへようこそ」。

4月5日にイオンシネマ徳島で封切られた同作品は、「四国地区ではミニシアター系(全国の映画館で一斉公開される作品以外の映画)は苦戦する」との映画界の定説もどく吹く風。

2ヶ月のロングランを経て、6月6日の上映終了を迎えましたが、GW中には連日チケット完売となり急遽上映回数が増やされるなど、舞台となった美波町にも嬉しいニュースをたくさん届けてくれました。

東京、大阪、名古屋でも単館ながら上映は実施され、特に東京公開時の舞台挨拶の様子は、インターネット上のニュースを中心に多くの大手メディアに取り上げられました。

今後は、地方での上映会も企画されるとのこと。もちろん、美波町での上映会についても、計画されているそうです。



© ポンコツ商会

## ■ 総務省大臣政務官の美波町視察

6月7日には、地方創生を推し進める総務省からの視察として、総務省大臣政務官古賀友一郎氏が美波町を訪れました。

美波町役場で磯野副町長から現在進めている地方創生・地域振興の取り組みを、また、移住交流施設「やまさき」では、一般社団法人アンド・モアの小林陽子代表から同施設や徳島県、美波町の移住者誘致について説明を受けました。

その後、サテライトオフィス開設第2号のITクラウド企業、株式会社鈴木商店の「美雲屋」(恵比須浜)や株式会社あわえの「初音湯」(中村町)などの空き家を利活用したオフィスを視察。

「一極集中や出生率減など人口問題に関しては厳しい現状だが、日本の地方が持つ力強さや可能性を実感できた」と、視察の感想を語ってくださいました。 <つづく>



(写真左) 移住交流施設「やまさき」を訪問。小林代表から説明を受ける古賀総務省大臣政務官。

(写真右) 古民家を利活用したサテライトオフィス施設なども見学。

## お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリン2階)

制作：美波ふるさと創造広報チーム

